

関東大震災は、1923年(大正12年)9月1日に発生したマグニチュード7.9と推定される地震(大正関東地震)によってもたらされた災害で、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び山梨県で震度6を観測した。

この災害では、火災による人的被害が大きかった一方で、強震、津波、土砂崩れ、液状化などによる被害が各地に及び、複雑な様相を呈した。



関東大震災写真帖(日本聯合通信社編)/国立国会図書館



火災



焼け落ちた橋梁

1923年(大正12年)9月1日
午前11時58分 発生
マグニチュード7.9

| | | 被害状況 |
|----------|-------|--------------------------------|
| 死者・行方不明者 | | 105,385人 (うち火災による死者91,781人) |
| 住家被害 | 全潰 | 109,713棟 |
| | 焼失 | 212,353棟 |
| | 流失・埋没 | 1,301棟 |

関東大震災以降も、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など大きな地震が発生しており、今後も南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝地震の発生が懸念されています。

地震が発生したとき、あわてずに適切な行動をとるためには、みなさんが地震について関心を持ち、日頃から地震の際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。

消防庁では、「消防庁防災マニュアル～震災対策啓発資料～」(平成19年8月31日消防庁)を消防庁ホームページで公開し、周知しています。



公開URL

消防庁防災マニュアル (抜粋)

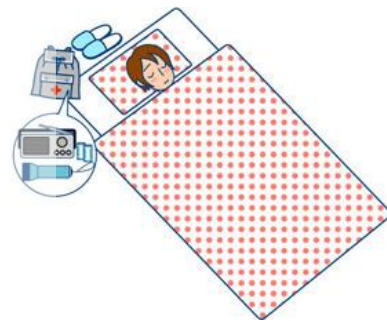
<自宅>

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。



<寝ているとき>

揺れで目覚めたら寝具にもぐりこみましょう。枕元には、厚手の靴下やスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオなどを置いておきましょう。



<エレベーター>

全ての階のボタンを押し、最初に停止した階でおきましょう。ただし、慌てておられるのではなく、周囲の状況を見極めましょう。



<地下街>

慌てずに、バッグなどで頭を保護し揺れが収まるのを待ちましょう。脱出するときは、壁づたいに歩いて避難しましょう。



- 関東大震災は、特に火災（地震火災）による人的被害が大きい災害でした。
- 地震火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置や家具類の転倒防止対策、安全装置などを備えた火気器具の普及を推進するなどの出火防止対策に加え、住宅用火災警報器、住宅用消火器などの設置といった火災の早期覚知・初期消火対策が重要です。
- また、地震後、電気が復旧した際に、破損した機器に再通電することで火災の原因となる場合があります。このため、避難時はブレーカーを落とすなど、火災発生を防ぐための行動も必要です。
- 消防庁では、日頃から地震火災に備え、地震時に火災を防ぐためのポイントをまとめた「地震火災を防ぐポイント ～地震火災対策きちんと出来ていますか？～」(令和2年6月30日消防庁)を作成し、周知しています。

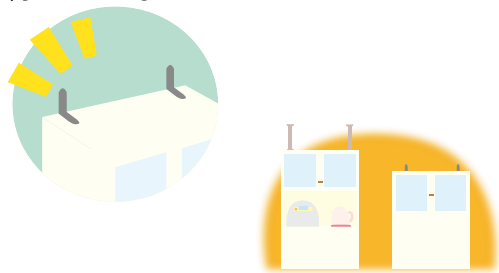


公開URL

地震火災を防ぐポイント（抜粋）

事前の対策

家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょ



住宅用火災警報器を設置しましょ

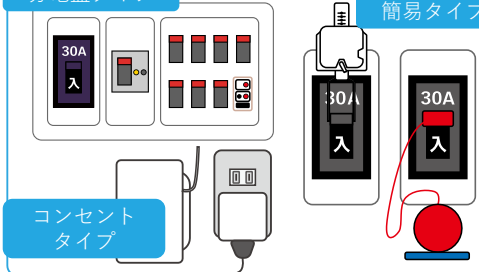
連動型住宅用火災警報器



感震ブレーカーを設置しましょ

分電盤タイプ

簡易タイプ

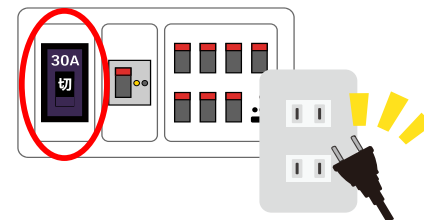


住宅用消火器等を設置し
使用方法について確認しましょ

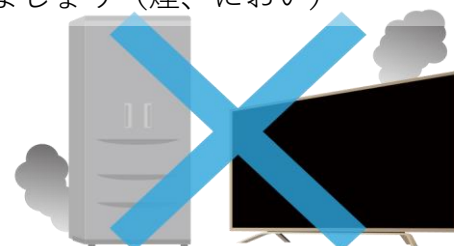


地震後の対応

停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。避難するときはブレーカーを落としましょ



再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか、故障箇所がないか注意を払いましょ（煙、におい）



取組の目的

災害を防ぐことはできなくても、備えることはできるため、関東大震災の経験を活かし、いつか来る災害に備えられるよう、国民一人ひとりの防災意識の向上に加え、地震火災対策の重要性を周知する。

具体的な取組

- ・ 消防庁HPに
関東大震災特設ページを作成
- ・ 「め組の大吾 救国のオレンジ」との連携ポスター
- ・ X (旧Twitter) での情報発信
- ・ 令和5年版消防白書で
関東大震災の特集を記載
- ・ 広報誌「消防の動き」
「消防研修」で特集

消防庁ホームページ
関東大震災特設ページ



関東大震災から100年。
学ぼう防災。守ろう命。

- ・ こども霞が関見学デーで啓発資料等を展示
- ・ ぼうさいこくたい2023で日本消防協会主催のシンポジウムに参加
- ・ 秋の火災予防運動、防火防災キャンペーンで関東大震災を踏まえた啓発を実施



こども霞が関見学デー

広報

イベント

訓練

セミナー

- ・ 緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練
(大規模災害を想定した訓練を実施)
- ・ 内閣府防災等が主催する大規模地震を想定した訓練への参加

- ・ 全国消防技術者会議の特別講演
- ・ 研修等における啓発